



石井 清志郎様

Seishiro Ishii



僕は2019年からフレーザーバレエアカデミーオブダンス(FVAD)に留学しています。最初は母がネットで調べてアドミッション留学センターにアプローチしました。先ずは母が将来海外での経験も必要ではないかな?と云って小学5年生の8月にロイヤルウィニペグバレエ(RWB)のサマースクールに参加しました。帰国後、その年の11月のカナダオーディションツアー(10日間)に参加しました。オーディションツアーでは5校の素晴らしいバレエスクールのオーディションを受け、そのうち4校に合格しました。その内の2校、フレーザーバレエアカデミーオブダンス(FVAD)とビクトリアアカデミーオブバレエ(VAB)は1

次試験の合格でした。最初僕はVABを選び、英語はわからないけれど6年生の4月から下準備としてとりあえず行って色々なことを学ばせていただきました。現地の小学校には日本人が自分1人で不安でいっぱいでしたが、たまたま学校に日本人のハーフの先生がいてその方から助けてもらい、カナダの友達もいっぱい出来て友達からも助けてもらいました。VABでは素晴らしいスタジオと良い先生に恵まれ、日本よりいい環境で教えてもらえました。ホームステイでは日本とは違う考え方や家族のかたちなどを学ばせていただきました。

4月からの短期留学の後、9月から本格的に留学しようと思いFVADに転校しました。留学当初は英語が分からないという不安もバレエクリスチャンスクールで英語を勉強しながら少しずつ消えていきました。バレエは先生方に厳しく教えてもらいながらも、その時はまだきちんと目標がなかったため真面目に取り組めてなく、どこかではちょっとまだやる気がなく、ロイヤルウィニペグバレエの1次オーディションに受かったものの、夏の2次オーディションに悔しくも落ちてしまい厳しい現実を見せられました。しかしその時僕はもっとバレエが好きになり、集中して取り組み、将来絶対こ

こに受かるぞと決意しました。ホストファミリーは優しく勉強とバレエに取り組むことができるとても良い環境です。少しずつ英語がわかるようになり、不安もなくなり、真剣にバレエに取り組むことができました。留学2年目になりFVADでもっと頑張る努力してもう一度ロイヤルウィニペグバレエスクールの1次オーディションに通過し、2次に向けてより気を引き締めて努力をしていたのですがコロナの影響で現地オーディションがなくなり、Zoomでオーディションを受けましたが、寮の人数制限やコロナという事もあり、通過出来ませんでした。ただ2021年の2次オーディションにスカラシップ生として招待され、この夏再挑戦する事になりました。

FVADのジョン・カーニー先生ご夫妻、島村星羅先生が僕の目標の為に一生懸命指導して下さい、コロナ禍でもこの素晴らしい環境で留学の機会を与えてくれた両親に心から感謝しています。

